

【JST 女子中高生の理系進路選択支援プログラム】
「香川大学ダイバーシティ&サイエンス 理系選択応援プロジェクト」
サイエンス・カフェ 2024 実施報告

日 時：2024年8月4日(日) 13:30~14:30
会 場：サンポート高松 市民ギャラリー（高松市サンポート2-1）
参加者数：中高生19名及び保護者11名

8月4日（日）、香川大学ダイバーシティ&サイエンス理系選択応援プロジェクトのサイエンス・カフェ 2024 を、高松駅前のサンポート高松で開催した「KSDG s 夢化学 21 in KAGAWA おもしろワクワクサイエンス展 '24」の中で実施しました。

ダイバーシティ推進室の高木室長の挨拶の後、参加者は4つのグループに分かれ、サイエンス・カフェはスタートしました。各グループには医学部（飯島さん、竹間さん、伏見さん）、創造工学部（河内さん）、農学部（濱師さん、濱橋さん、南谷さん）、教育学部（小野さん）から2名ずつの香川大生が配置され、学部選択や勉強のコツ、理系の魅力や大学での過ごし方、将来の夢や進路などについて、参加者とのやりとりが続きました。途中、学生がグループを移動し、最後は、ダイバーシティ推進室 塩田副室長の閉会挨拶で終了になりました。

会場内のパネル展示では、本学が取り組んでいる「香川大学ダイバーシティ&サイエンス理系選択応援プロジェクト」と女性の理系ロールモデルの他、理系学部や学術交流協定校との留学についても紹介しました。

アンケートでは、「理系と文系で迷ってたのだが、現役の大学生の方の話をたくさん聞いて理系がいいなと思うようになった」「とても分かりやすく、近い距離感で話して下さって良い経験になった」（生徒）、「年齢の近い学生さんにいろいろな話が聞くことができ参考になった」、「理系か文系かを選択するきっかけや動機を具体的にお話いただいたことが、一緒に参加した子どもにとって、将来の道を描いていくヒントになってくれたらいいなと感じた」（保護者）といった声が寄せられました。



パネル展示の様子



会場全体の様子